

令和 5 年度 大径木チップ化処理委託業務

特 記 仕 様 書

第 1 条（適用範囲）

本特記仕様書は、令和 5 年度 大径木チップ化処理委託業務（以下「本業務」という）の遂行に必要な事項を定める。本特記仕様書に記載している発注者とは、一般財団法人沖縄美ら島財団（以下「甲」という）をいい、甲から委託を受けて本業務を履行する者を「乙」という。

第 2 条（目的）

本業務は、海洋博公園の植物維持管理において発生した、樹木(大径木)等のチップ化を行うことを目的とする。

第 3 条（準拠）

本業務は、特記仕様書に基づく他、関係法令によるものとする。

第 4 条（業務内容）

(1) 業務期間は、契約締結の翌日から令和 6 年 3 月 27 日までとする。

(2) 施工場所は住所：本部町字豊原とする。※別紙地図の通り。

(3) 施工方法

乙は特記仕様書に従い、甲より委託される発生した樹木等のチップ化を以下の方法で適正に行うこととする。

1) ホッパーの回転により発生材をカッタードラムに送り込む。

2) カッター刃と受け刃によって破砕する。

3) スクリーンを通過した破砕物をベルトコンベアで排出する。

(4) 処理物の樹種

樹種はモクマオウ、リュウキュウマツ他。

(5) チップ材の木目の大きさ

チップ材の木目の大きさは 3cm 程度とし、施工前にサンプルを提出すること。

(6) 集積場所

処理したチップ材は、同地内に集積を行うこと。

第5条（官公署及びその他の手続き）

本業務の遂行上、必要な官公署及びその他への手続きは、監督職員と協議し遅滞なく行うこと。

第6条（安全管理）

受託者は工事期間中の安全には常に留意し、工事現場における安全に関する点検、連絡調整等、工事内全般の監視等、安全管理に留意し、その保全に努めること。なお、万が一、事故が発生した場合には速やかに委託者に報告するとともに関係機関に連絡し、応急処理を行うものとする。

1) 保護具等

(1) 危険箇所（物体の飛来及び作業員の落下の危険性がある場所等）で作業を行う場合には、保護帽（ヘルメット）を着用し、アゴ紐をしっかり締めること。

(2) 上記(1)の他、作業内容に応じて安全上必要な装備をすること。

2) 整理整頓

(1) 作業現場において使用材料、植物発生物等を整理すること。

(2) 植物性発生材は指定の場所に集積すること。

3) 作業現場

安全器具（カラーコーン、作業表示看板、誘導看板、注意表示等）を設置すること。

4) 作業用機械

(1) 作業用機械は、始業前点検、定期点検を行うこと。

(2) 作業は、作業用機械の操作方法を熟知した者が行うこと。特にバックホウやユンボを使用する場合、車両系建設機械運転技能講習の資格を有するものが操縦すること。尚、移動式木材破砕機を設置するにあたっては、破砕リサイクル施設・技術管理士の資格を有する者を責任者として設置し、産業廃棄物処分業許可証を取得しておくことが望ましい。

(3) 作業用機械使用時は、作業員同士の間隔を十分に確保すること。

5) 安全活動

本業務を遂行する前には、作業前のミーティング（各種注意喚起）、作業前点検（作業手順確認、作業前シミュレーション）、車両運行前チェック・酒気帯びチェック、準備運動、危険予知活動（KY 活動）を行うこと。

6) 立ち入り制限区域の設定

本業務を遂行する際、カラーコーン等で立入制限区域を設定し、地域住民等が立ち入らないようにする。

第7条（その他）

特記仕様書に定めのない事項及び定めている事項について疑義が生じた場合は、甲乙協議するものとし、軽微な事項については甲の指示に従い誠意をもって本業務の遂行にあたるものとする。